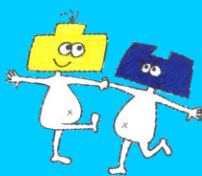


凸凹お便り

～みんなちがって みんないい～



VOL.14

発行

2023.9.吉日

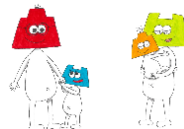
倉敷発達障がい者支援センター

皆様、こんにちは。倉敷発達障がい者支援センターです。今年も各地で台風による多くの浸水・土砂災害が発生し、多くの被害をもたらされています。猛暑も含め、人と自然との共存は通年の課題になってきています。もはや人だけでなく動植物・生物全体のことを考える必要があることを日々痛感しています。

凸凹お便りではご利用者のつばやきトピックを通して、お互いのことを知る一助になればと編集作業に励みました。引き続きご理解とご協力をお願いするとともに、ご意見・ご感想もお待ちしております。

イベント報告

かたり場（親のかたり場・パートナーのかたり場）開催



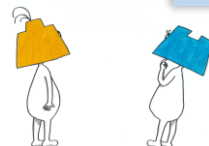
6/3(土)、センターご利用者の親御さんを対象に「親のかたり場」を開催しました。市内のペアレントメンター※2名をゲストに招き、8名の参加者を2つのグループに分け、座談会を行いました。各グループのペアレントメンターさんがご自身の経験を共有してくださったことで、参加者の皆さまも日頃不安に感じていることなどを安心して伝えあうことができているように見えました。境遇は違っても気がかりな点は同じ。本来はこのような話題をもっと身近な場で行えると良いと改めて感じる時間でした。

※ペアレントメンター：

発達障がいのあるお子さんを育ててこられた保護者の方が規定の研修を修了し同じように子どもの発達が気になる保護者の悩みを聞いて、寄り添いながら共感したり、経験談をお話したりすることで発達の気になる子の子育てを応援していただいています。



親のかたり場
倉敷学園2Fにて



かたり場パートナーの会
あっこさん広場にて

7/3(月)、同じくセンターご利用者の配偶者・パートナーの立場にある方々を対象に「かたり場パートナーの会」を開催しました。毎年恒例になりましたが会場は、福祉の活動のために場所を提供くださっている隠れ家「あっこさん広場(粒浦)」です。今回は6名の方にご参加いただきました。

日々丁寧に整えられた古民家のたたずまいとオーナーのあっこさんの柔らかな雰囲気相まって、初めて参加する方の緊張もほぐしてくれます。誰に話しても同じ温度感では受け止めてもらえなかったという話題も、お互いに受け止め、考える時間になりました。答えがあるわけではないけれど、皆で同じ困り顔をしている、なんとも言えないかたり場。引き続き開催ご希望の声をいただいています。

かたり場ではボランティアの方にもご協力いただいています。今回もサポートくださった皆さま、本当にありがとうございました！センターでは今後も様々なイベントやその他の福祉事業の現場で実際に活動して下さるボランティアさんを募集しています。

Instagram



それぞれの会の様子も投稿しています。是非覗いてみてください。

@hsiencenter2023
倉敷発達障がい者支援センター

開催中のイベント

R5 年度発達ボランティア養成講座開催中

日程：1回目8/23(水)・2回目9/6(水)・3回目9/20(水)

時間：10:00～12:00

場所：倉敷市保健所3階 301

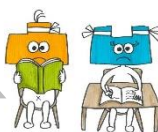
定員：15名(3回ご参加いただける方を優先させていただきます)

対象：発達障がいについて理解を進めたい方・ボランティア活動にご興味のある方

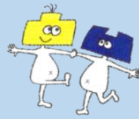
申込：お電話・メールにて「お名前・電話番号・メールアドレス」をお知らせ下さい。

(ご連絡先は裏面センター連絡先をご参照ください)

来たれ～！



昨年度の開催の様子
くらしき健康福祉プラザ3F 視聴覚室



「ずっともぐもぐしていたい…」

今回はマナティさん御夫妻からお寄せいただいたエピソードをご紹介します。

Report

凸凹お便り編集部(センター利用者参加)で、意見を求めたところ、同じような食に関する問題を感じているという声があがりました。

- ・ずっと噛み続けられるように硬いすゝめを食べている。
- ・塩分を気にしなくていい無塩ナッツを食べている。
- ・カロリーを気にしなくていい、歯ごたえが多少あるので満足感も得られる、お湯を入れて待つ時間で気分が収まるといった理由でオススメなのが、春雨スープ。
- ・ガムはずっと噛んでいられない、食べ物食べている感じがしないのでダメ。
- ・お腹の冷えが関係しているので、温かいものを飲んでいる。乾燥わかめを入れたお汁をつくっている。

- ◎選択肢がいくつかあると良い
- ◎ご本人は何を求めているのか？
- ◎我慢すぎると良くない
- ※ハチドリと同じかも(食べるために飛び、飛ぶために食べる)

マナティさんは食べるのが大好きで、その「食べたい」という衝動を抑えられずに、体重が増加してしまいました。健康を心配したパートナーは「一緒に健康になろう！」と励まし、共に食事制限と運動に取り組み減量に成功しました。しかし、今度は外でのストレスを好きな「食べること」で解消できなくなり、家でもんもんとしてしまいます。そこで、自由にできない食事の代わりにお酒などで対処しようとしたのですが、過度に摂取すると健康に害があるため、一つのものに没頭しやすいマナティさんには適していませんでした。現在も家族やかかりつけの医師に相談し、他の対処方法を模索中です。頭では理解しているのに、欲求のコントロールが難しく、苦しい思いをしているマナティさん。みなさんの周りでもこういったお話ありませんか？

好きなものを
がむしゃらに食べたい

いつももぐもぐしていたい

我慢し続けるのが苦しい

頭が食べたい気持ちでいっぱい…

何かいい方法はないかな？

みんなはどうやっているの？



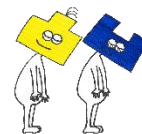
リアル マナティのこと



川・海両方で生息可能。水中に浮かぶ水草などを食す(リーズナブル!!)。体長3~4メートル近くの大型哺乳類であるが、狭いところでも小回りの利く体の構造。泳ぐのはゆっくり。前肢には関節があるのでエサを持つような体制で食べることができる。

性格:繊細・かつ警戒心が強いが、信頼関係を築けられれば人懐こさも。コロンブスが人魚と間違えたのがこのマナティだと言われている。

以下のQRコードからマナティさんにアイデアを提供しよう！
成功例・失敗例教えてください！



ひとこと 編集後記

暑い日が続いています。これが読まれているころには少しは涼くなっているといいなあ…。

編集サポート:ばななさん

マナティ…?イエティ…?と頭の中でいろんな情報がごっちゃになりました(笑)
調べてみるとコロっとしてかわいらしい生き物だとわかりました。イメージが固まると勢いがついてあっという間に仕上がりました。

「ご利用者さんのつぶやき」イラスト:酔イカさん

センターでは発達凸凹を実感している、もしくは理解のある方々の活動を募集しています。皆様の特技、素敵な趣味等をぜひ教えてください。
また、「発達障がい」に関する研修会、勉強会、親の会、当事者の会など当センターのホームページおよびこの広報紙に掲載させていただきますので、広報されたい方はご連絡ください。
多くの方とともに紙面を作っていければと思います。

<お問い合わせ>
社会福祉法人クムレ
発達障がい者支援センター(担当:森・福本)
〒710-0002 倉敷市生坂 836-1
TEL 086(464)0015
FAX 086(464)3980
E-mail h-siencenter@cumre.or.jp
ホームページ <http://www.cumre.or.jp>

